



2019年11月7日

各位

会社名 株式会社 デイトナ
 代表者 代表取締役社長 織田哲司
 (証券コード 7228、東証 JASDAQ)
 問合せ先 取締役管理部長 杉村靖彦
 (TEL 0538-84-2200)

2019年12月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2019年2月13日付当社「2018年12月期 決算短信[日本基準](連結)」において公表しました2019年12月期(2019年1月1日～2019年12月31日)の通期業績予想を下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせします。

記

1. 通期業績予想の修正について

2019年12月期 通期連結業績予想数値の修正(2019年1月1日～2019年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,268	576	575	387	165.50
今回修正予想(B)	8,496	772	805	512	218.73
増減額(B-A)	227	196	229	124	-
増減率(%)	2.8	34.0	39.9	32.2	-
(ご参考)前期実績 (2018年12月期)	8,097	594	624	401	171.48

2019年12月期 通期個別業績予想数値の修正(2019年1月1日～2019年12月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,650	354	247	105.53
今回修正予想(B)	4,974	521	325	138.73
増減額(B-A)	324	167	77	-
増減率(%)	7.0	47.2	31.5	-
(ご参考)前期実績 (2018年12月期)	4,511	324	211	90.27

2. 主な修正理由

2019年12月期通期業績予想につきまして、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益及び当期純利益が、主に以下の理由により当初予想を上回る見込みとなりました。

国内拠点卸売事業に属する株式会社デイトナにおいて、第2四半期累計期間以降も消費税増税前の出荷の増加等により引き続き売上高が好調に推移しており、営業利益、経常利益、当期純利益が前回発表予想を大きく上回る見通しです。また10月以降の消費税増税等の影響は小売事業において若干の反動が見られますが、国内拠点卸売事業においては、想定していた大きな影響も見られないことから、通期業績予想を修正することといたしました。

なお、通期の配当予想については、2019年8月6日に公表した「2019年12月期 配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」から、現段階で変更はございません。

本資料には、本資料の発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれています。また、当該予想と実際の業績の間には、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。

以上